

令和4年度第1回旭川市地域包括支援センター運営協議会 会議録

- ・日時 令和4年9月8日（木曜日） 午後6時30分から午後7時45分まで
- ・場所 旭川市職員会館6号室
- ・出席者 委員13名  
石塚委員，大森委員，岡委員，小野委員，栗田委員，島原委員，長瀬委員，野坂委員，野嶋委員，橋本委員，浜田委員，松野委員，森田委員  
(50音順)  
事務局5名  
松本福祉保険部保険制度担当部長，鳴海長寿社会課長，ほか3名
- ・欠席者 2名（千野委員，富田委員）
- ・傍聴者 0名
- ・資料 次第  
審議事項第1号資料  
審議事項第2号資料  
審議事項第3号資料  
審議事項第4号資料  
当日配付資料

【会議内容】

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 議事

- (1) 審議事項第1号 令和3年度地域包括支援センター事業報告及び収支決算について  
審議事項第1号資料に基づき事務局から説明

会長	ただいまの事務局からの説明に関して，質問・意見等はないか。
A委員	各包括ともコロナ禍においても熱心に業務に取り組まれていることはよく分かった。 生活支援体制整備事業について，コロナの関係もあるかと思うが成果が見えにくい，どのような取組がされたのか。 また，資料1 1ページの研修会「地域ケア会議を活用した地域包括ケアと地域包括支援センターの役割について」，自分の取組の参考になればと思い，内容について伺いたい。 資料4 ページ④圏域ごと相談方法別件数のグラフは圏域名がないが，左から順に中央からということでしょうか。
事務局	資料4 ページ④については，御指摘のとおりである。 生活支援体制整備事業については，第2層生活支援コーディネーター4

	<p>名で活動を行い、主にボランティアの養成に力をいれるなどの活動を中心に行っていた。</p> <p>生活支援コーディネーターが把握した令和3年度のボランティア登録数は31名、ボランティア養成講座は33回行っている。その養成講座の中で登録があったのは16名である。また、地域の困り事を把握した時には、関係団体等と連携しながら解決するような取組をしていた。</p> <p>研修会「地域ケア会議を活用した地域包括ケアと地域包括支援センターの役割について」の内容は、自立支援型ケア会議を効果的に行っていくために必要な考え方や具体的な会議の進め方について説明をさせていただいた。個別事例に対して医療専門職等のアドバイザーから自らの専門性を活かした助言を行い、今後実践するケアマネジメントについて整理する会議となっている。詳細は、後ほど研修で使用した資料をお渡しするのでこちらを御覧いただければと思う。</p>
A委員	<p>生活支援コーディネーターの第2層の主な取り組みとして、ボランティアの養成はもともとやっていたと思う。よくわからない感じで終わってしまったように感じた。</p> <p>第1層はどのような取り組みをしてきたか伺いたい。</p>
事務局	<p>第1層生活支援コーディネーターについては、主に第2層のコーディネーターとの情報交換を通して、市の全体的な課題を吸い上げて今後の必要な政策を考えていく役割となっている。旭川市生活支援整備検討会を開催し、そこで見守りの必要な方のSOSネットワーク等に関して検討し、今後の活動について議論してきたところである。</p>
会長	<p>他に、質問・意見等はないか。</p> <p>資料10ページ⑤の虐待を受けたと判断した事例の対応状況で、永山圏域の件数が多いが、地域的なものなのか、それとも包括によって認識の違いがあるのだろうか。</p>
事務局	<p>理由については、把握していないが、虐待の判断は最終的には市が行うので、今後注目していきたい。</p>
会長	<p>包括によって認識の違いがあるようであれば、一定にするような指導が必要かと思う。</p>
事務局	<p>包括ごとに虐待の認識にばらつきがないよう、職種別会議の社会福祉士会議でも話し合いながら、事例検証などを行い、自己研鑽に努めている。</p>
A委員	<p>資料9ページの③事実確認の状況と④事実確認を行った事例における虐待の判断の状況について、可能であれば、圏域別の単年度でなく、こちらも過去3年分の載せたらいいと思うので意見を述べさせてもらおう。</p>
B委員	<p>圏域ごとの高齢者人口を見ると、永山地域は高齢者人口が少ないのに虐</p>

	待事例の件数が多いのが気になった。高齢者人口の一番多い神楽・西神楽地域は永山地域の約2倍だが、人口に対するカバーがどのくらいできているのか気になる。資料7ページ④認知症理解のための啓発活動によると包括によって件数にばらつきがあるので、啓発活動の頑張りによって差が出ているのか、認識の違いなのかというのは、対人口で見ないと分からないと思うので意見として述べさせてもらう。
C委員	老人ホームの施設長をしているが、虐待が疑わしいということで包括から急な入所を受け付けることがある。そういうケースも件数に上がってきていると思う。若い方と高齢者の同居で生活時間にずれがあり、食事が提供されないということから包括から連絡があって、施設に入所ということに結びついてる状況もあるので、参考までに述べておく。
D委員	この運営協議会の資料は各包括が見ることはできるのか。つまり、包括ごとに件数にばらつきがあることは見ているのか。
事務局	運営協議会の開催結果を資料と合わせてホームページでも公表しているので、各包括は見ることができる。
C委員	包括職員の職種別会議で、困難事例を話し合ったり、意見交換をしており、包括間での情報共有は行っていると思う。
会長	ほかに質問等がなければ、ただいまの事務局からの説明に関して、承認ということによろしいか。
各委員	異議なし。

(2) 審議事項第2号 令和4年度地域包括支援センター事業計画及び収支予算について  
審議事項第2号資料に基づき事務局から説明

会長	ただいまの事務局からの説明に関して、質問・意見等はないか。 包括の人員は配置基準を満たしているが、もし人を増やしたいと思っても最近では人材不足でなかなか人が見つからない状況にあると思う。 今は何とか維持できているが、高齢化が進み人口は減っていて、労働人口や学生が流出して市内に戻ってこないことなどから、さらに人材不足になっていくと思う。今から何か考えなきゃいけないのかなと感じた。
会長	ほかに質問・意見等がなければ、ただいまの事務局からの説明に関して、承認ということによろしいか。
各委員	異議なし。

(3) 審議事項第3号 第1号介護予防支援事業及び指定介護予防支援の一部の居宅介護支援事業所への委託について

審議事項第3号資料に基づき事務局から説明

会長	ただいまの事務局からの説明に関して、質問・意見等はないか。
B委員	資料15ページの令和3年度収支決算では、豊岡包括が委託料の返還金があるが、これは40ページの法人内事業所への委託は0件、法人内以外の委託で一番件数が多い事業所が20%を超えていることに関係はあるのか。
事務局	会計が別のものなので、直接は関係ない。
C委員	委託件数が何%かというよりも、そのプランがどこのサービス事業所にかたまっているかということ気を付けて見ていただきたい。囲い込みでヘルパーばかり使っているとか、一箇所の事業所にサービスが流れているとか、利用者や家族の要望もあると思うが、そちらを定期的に見ていただきたい。
事務局	先程の豊岡包括の委託料の返還金は、職員の退職に伴い、後任者の賃金が当初予算より下がったことなどから人件費の支出に減額が生じたためである。
会長	ほかに質問等がなければ、ただいまの事務局からの説明に関して、承認ということよろしいか。
各委員	異議なし。

(4) 審議事項第4号 利用者アンケートの実施について

審議事項第4号資料に基づき事務局から説明

会長	ただいまの事務局からの説明に関して、質問・意見等はないか。
E委員	対象者は、来所と訪問ということだが、電話の相談は対象にしないのか。
事務局	調査票を直接渡す方法を取ることから、来所と訪問で直接対応した相談者を対象とする。
会長	ほかに質問等がなければ、ただいまの事務局からの説明に関して、承認ということよろしいか。
各委員	異議なし。

4 閉会